



城南区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 鳥飼・別府では、六本松とともに、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 油山などの山地や樋井川、ため池などの水辺では、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 樋井川などにおいて浸水対策を進めるとともに、油山と近接している地域では、土砂災害対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 区内に立地する福岡大学、中村学園大学の二つの大学の知的資源や人材を生かし、誰もが生きがいを持って心豊かに暮らせるまちづくりを推進するとともに、学生の柔軟で新鮮な発想を生かし、社会課題の解決や地域コミュニティの活性化を図り、創造的で活力のあるまちづくりを進めます。



城南学園通り



油山からの眺め(片江展望台)

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(烏飼・別府) ○ 地下鉄七隈線を生かしたまちづくり ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 交通結節機能の充実・強化
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 安全・安心な交通環境づくり
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	○ 沿道の有効利用 ○ 後背地などの周辺環境への配慮 ○ 交通ネットワークの充実・強化 ○ 連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
みどりの輪・ みどりの帯 (森の緑地環・ 緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	○ 油山などの豊かな自然の活用 ○ 生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	樋井川やため池など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	○ 河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○ 親水性の向上 ○ 生物多様性の保全・回復・創出 ○ 安全で快適な都市基盤の整備

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な居住環境の形成 ○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
山地・丘陵地 	油山などの豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○ 無秩序な開発の抑制



1 都市計画マスタープランの位置づけと役割

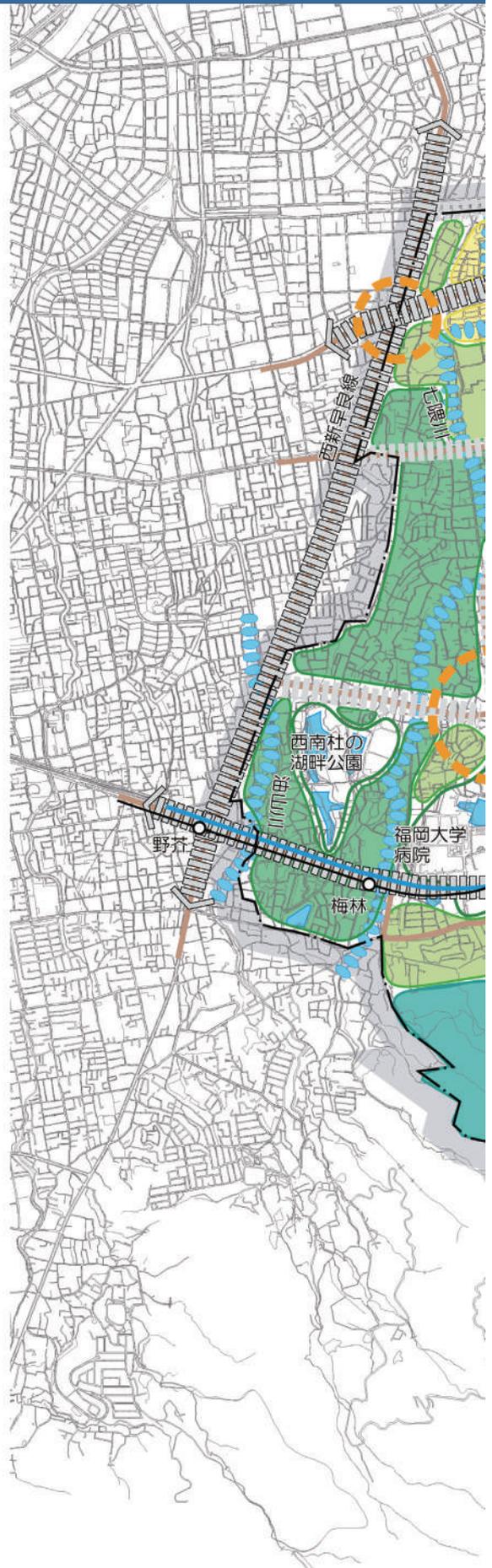
2 都市の現状と都市づくりの課題

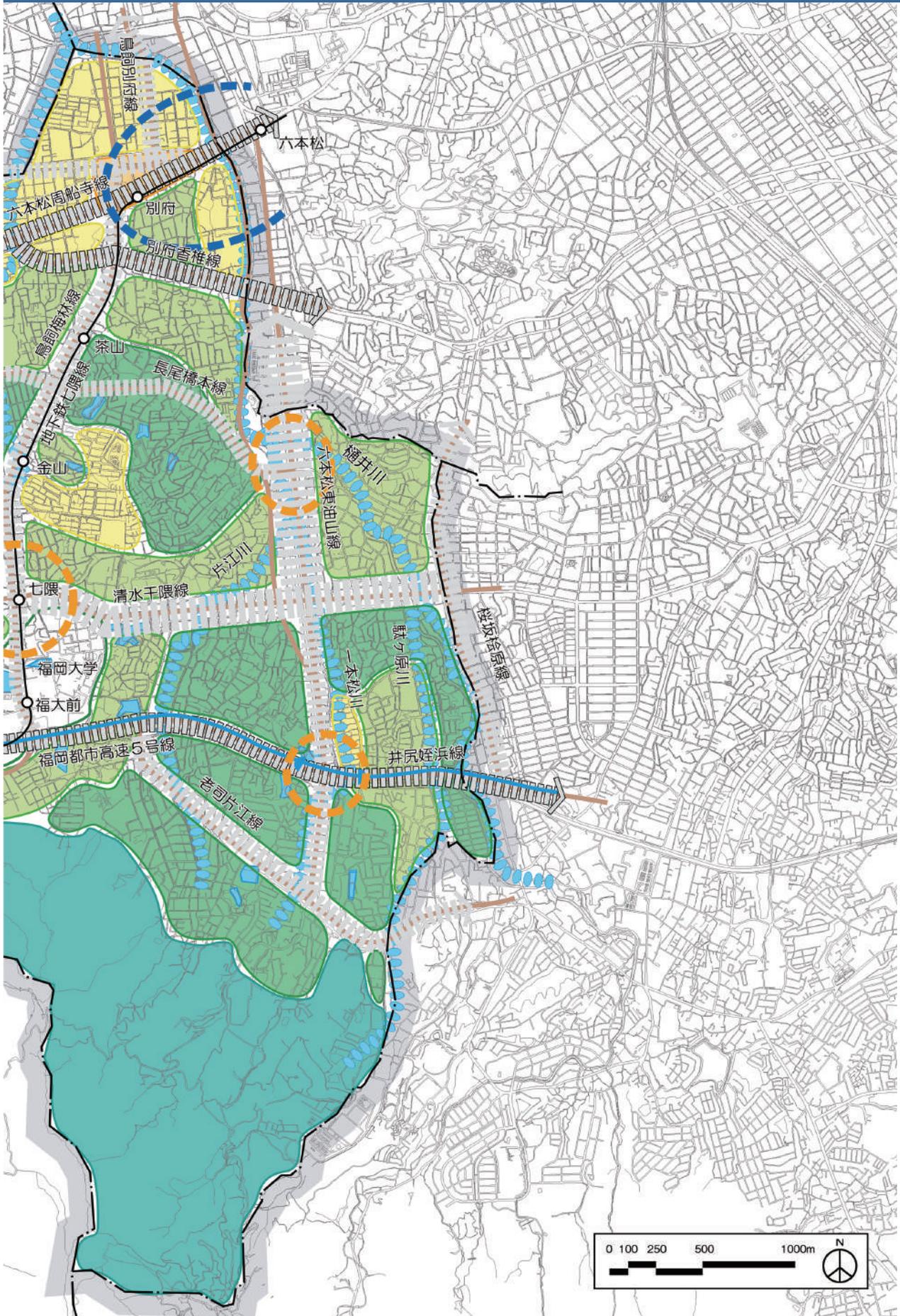
3 全体構想

4 区別構想(城南区)

将来像図

- [凡 例]**
-  都市計画道路等
 -  自動車専用道路
 -  地下鉄
 -  大規模施設・大規模公園
 -  区界
- 拠点等 ●**
-  地域拠点
 -  生活商業地
 -  都市軸
 -  沿道軸
- 環境資源などを保全・活用するエリア ●**
-  河川緑地軸
- 土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア ●**
-  複合市街地ゾーン
 -  中高層住宅ゾーン
 -  低中層住宅ゾーン
 -  低層住宅ゾーン
 -  山地・丘陵地





現況と課題

[凡 例]

	都市計画道路等（整備済・概成）		標高80m以上
	都市計画道路等（未整備・整備中）		市街化区域および市街化調整区域界
	自動車専用道路		区界
	地下鉄		主な公園・緑地
	主な公共施設		大学
	文化財・寺社		

- 別府団地や金山団地などの大規模団地をはじめ住宅地が多く、商店街や店舗などが幹線道路沿いに立地しており、日常生活における買い物の利便性が高くなっています。
- 区内を縦貫する地下鉄七隈線の博多駅延伸や、東西に横断する外環状道路、都市高速道路5号線などの整備により、通勤、通学などの交通利便性が向上しています。
- 北部では、中高層集合住宅やワンルームマンションの立地が進んでいます。また、行政サービスや商業などの機能と文化・教育施設が集積しています。
- 南部には油山や樋井川、多くのため池など、豊かな自然環境が生活の身近なところにあり、友泉亭公園や梅林古墳など、郷土をしのぶ歴史的資源も残っています。
- 福岡大学、中村学園大学の二つの大学が有する人材や施設、技術力は大きな資源となっており、多様な主体がさらに連携を深め、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化につなげていくことが期待されています。
- 高齢化率が7区で最も高く、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、お互いに見守り支え合う地域づくりが急務となっています。
- 自然災害が激甚化・頻発化する中で、自主防災組織を中心とした共助の重要性が高まっており、地域防災力を強化する必要があります。油山と近接している地域では、豪雨による土砂流出への対策も求められています。また、狭あい道路が多く、生活道路の環境改善や交通安全対策を進めていく必要があります。



